

会場名	サブリーダー	
	役職	氏名
大阪国際会議場 10 階 1004-1005 号室	次年度地区国際奉仕委員長	前田 要之助
<b>リーダー 役職・氏名</b>	地区ロータリー財団補助金 小委員会委員長	今西 良介
パストガバナー 福家 宏		
<b>議事録作成者</b>	大阪東ロータリークラブ 佐伯 元宏	

開会：(15時30分)
発表者：国際奉仕部門 SAA 西澤 一二
【内容】挨拶、副 SAA の紹介、本日の資料の確認、司会の紹介
司会 地区国際奉仕委員会 伊藤 智秋 様 (15時32分)
【内容】出席役員・委員の紹介
発表者：次年度地区国際奉仕委員長 前田 要之助 様 (15時34分)
<p>【内容】開会の挨拶に続き、国際奉仕活動についての説明。</p> <p>国際奉仕の歴史と目的、そして国際奉仕の分野について説明の後、人道的国際奉仕活動の資金調達の種類を説明。(①個人寄付②クラブ寄付③地区財団活動資金(DDF)④地区補助金(DG)⑤グローバル補助金(GG))このうち③～⑤がロータリー財団の補助金プログラムである。国際奉仕の6大重点分野がロータリー特別月間の9月、10月、12月、2月、3月、4月に含まれており、国際奉仕活動の中心となっている。</p> <p>続いて、海外姉妹・友好クラブに関するアンケート結果の発表。(81クラブ中66クラブ回答)</p> <p>海外姉妹・友好クラブがあるクラブは56クラブ、地区で見るとアジアが75%で一番多い。海外姉妹・友好クラブを持っていない10クラブの内、これから締結予定は1クラブ。海外姉妹・友好クラブについて75%が満足している。全メンバーを上げて付き合えれば、ロータリークラブの本来の意味がわかってくるのではないかと。</p> <p>最後に国際大会の予定について説明して頂きました。</p>

発表者：地区ロータリー財団補助金小委員会委員長 今西 良介 様（15時48分）

【内容】補助金について、補助金を申請する際の注意事項やポイント等について解説。  
挨拶に続き、年度別 財団補助金クラブ申請実績の説明の後、ロータリー財団から割り当てられる補助金（DDF）は3年前の年次基金寄付に依存している旨の説明。  
「財団補助金申請のハンドブック」「ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件」は補助金申請に非常に有効な資料であり、地区 HP よりダウンロード可能となっている。  
グローバル補助金は7月より申請開始となるが先着順なので早めの準備をお勧めする。申請はマイロータリーよりオンラインで行い、地区への申請と財団への申請を同時に行う必要がある。  
（申請方法につき、ユーチューブ動画を紹介）  
グローバル補助金の特徴は、内容が6大重点分野であり、成果が持続可能・測定可能であることが重要ポイントである。また代表提唱では2万ドル/件であるが、共同提唱により5千ドル/件加算される。地区に関して、今年からミャンマーも可能となっている。  
グローバル補助金申請への9つの注意点につき説明。  
最後に最新情報の説明と学校建設が可能になっている旨を説明を頂きました。

発表者：地区国際奉仕委員会 次年度副委員長 宮崎 正人 様（16時18分）

【内容】G.Gを使用した事例を発表。（ASIA Alliance Medical Center を支援するプロジェクト）  
高槻東 RC  
プロジェクト概要を決定する過程と地区財団活動資金（DDF）及びグローバル補助金（GG）の申請、承認に至るまでの過程の説明。  
補助金申請には6重点分野に合致する分野であることが必要である。また、目的・活動計画、実施地域、恩恵を受けるのは誰か、持続可能かなどを申請書に記載する為、これらを分かりやすく整理していけば進めやすい。  
高槻 RC で用意した資金は5,350ドルであったが、地区活動資金（DDF）20,000ドル、グローバル補助金（GG）22,675ドルの補助金を頂き、プロジェクト予算合計が48,025ドルとなったと説明頂きました。

発表者：地区国際奉仕委員会 次年度委員 塚本 英 様（16時38分）

【内容】G.Gを使用した事例を発表。（タイ パッタラン県 人口透析器寄贈と腎臓病予防啓発セミナー開催事業）大阪北梅田 RC  
プロジェクトの企画背景、事業内容、実施地域、目的の説明。  
プロジェクトの資金調達については、実施国側 RC 18クラブより2,000ドル、支援国側 RC 4クラブより7,500ドル、地区補助金（DDF）17,200ドル、グローバル補助金（GG）21,949ドル、総額で48,649ドルの事業となった。  
現在までの感想として、ロータリー歴の浅い会員に国際奉仕について実感してもらえた手応えを感じた。あとはプロジェクトの終了報告を財団に提出するのみだが、治安の問題により、贈呈式を現地で行えなかったことは残念であったと説明を頂きました。

発表者：パストガバナー 福家 宏 様（16時57分）

【内容】講評。閉会の挨拶

前田次年度地区国際委員長からは、主として海外姉妹友好クラブについてのご報告を頂いた。

今西ロータリー財団補助金小委員会委員長からは、グローバル補助金の申請について詳しくご説明頂いた。

宮崎地区国際奉仕副委員長と塚本地区国際奉仕委員には、補助金事例を発表して頂いた。両者に共通しているのは、補助金マジックについてである。自分たちのクラブは5,000ドル程の寄付であるが、実際の予算総額が5万ドル規模になっている。基礎になるのは年次基金である。何か事業をするにはまず寄付が大事であることを認識する必要がある。

国際奉仕活動を行っていないクラブもあるが、実際に国際奉仕活動を行い、現地に赴き、充実感、感動、誇りを肌で感じてほしい。

閉会（17時00分）